

新年のしめ縄作り：新しい日本の技術を習得しました！

チュニジアでは、手作り工作教室などは主に子どもたちのために開催される事が多く、大人向けの手作り教室や習い事の文化は、かなり新しいものです。しかし、それは新しい世代に急速に発展しているようですが、15年、20年前にはそれはまだ珍しいものでした。

日本では、この文化はとても一般的であるように思います。日本の人々は共通の活動のために、集まって一緒に仕事をするのが好きです。さまざまな年齢や職業の人々の努力によって集まって何かを作り上げることは、共有できる喜びです。それに比べてチュニジアでは、カフェやパストリーの周りに集まってチャットしたり、問題について話し合ったり、心の痛みを共有したりするのが好きです。私たちにとって、リラックスする時間には肉体的または精神的な努力をするべきではないという感覚があります。会話を通じて感情を解放する時間でなければなりません。

最近、私はグリーンツーリズム部門で活動されている地域おこし協力隊の先輩である梅野さんが主催するワークショップに参加しました。約15人の地元の方たちと一緒に、お正月を迎えるために玄関先に飾るしめ縄を作りました！作りながら、子供の頃に一生懸命手作りしたことを思い出しました。お互いに手伝いながら、自分なりに工夫して装飾するのはとても楽しかったです。誰もが自分の選んだかざり部分をどのようにつけるか、考えながら作らなければなりません。とても楽しく、想像的な時間でした！日本人はこのような活動によって、地域社会への所属意識を養い、手芸技術を習得するのですね。

このイベントでの出来事のように、今年1年も私に多くの驚きと教えを与えました。皆様にとって来年が、健康、喜び、そして驚きに満ちた一年になりますようにお祈りします。

